

いみず 市議会だより

No.15

平成21年7月31日発行

E-mail gikai@city.imizu.lg.jp

発行／射水市議会
〒934-8555 射水市本町二丁目10番30号
編集／広報編集委員会
TEL 0766(82)83050
FAX 0766(82)83080



射水の心象 (まつりの朝)

提供／北日本新聞社

のがみ ただまろ
野上 祇磨氏 (洋画家／富山市在住)

1930年 射水市(下村)に生まれる
第1回北日本美術賞受賞
富山県文化功労表彰
富山県芸術文化協会功労者表彰
地域文化功労者文部大臣表彰
富山県芸術祭50回記念功労者表彰
北日本大賞展大賞受賞
北日本新聞文化賞受賞

2001富山県立近代美術館収蔵美術品選定委員
富山県美術品専門委員
日本美術家連盟会員
北日本新聞カルチャー講師



【展覧会予定】平成21年8月29日～9月 8日 射水市新湊中央文化会館
平成22年2月26日～4月18日 射水市新湊博物館

暑中お見舞い申し上げます

射水市議会議員一同

6月

5月

- 19日 本会議
- 18日 予算特別委員会
- 17日 議会運営委員会
- 16日 産業建設常任委員会
- 15日 市民環境常任委員会
- 12日 福祉病院常任委員会
- 11日 総務文教常任委員会
- 15日 予算特別委員会
- 15日 本会議(一般質問)
- 12日 本会議(代表質問)
- 11日 議会運営委員会
- 8日 本会議
- 8日 議会運営委員会
- 4日 本会議
- 4日 議会運営委員会
- 1日 本会議
- 1日 議会運営委員会
- 1日 全員協議会

- 18日 総務文教常任委員会
- 18日 行政視察
- 19日 市民環境常任委員会
- 19日 行政視察
- 19日 産業建設常任委員会
- 19日 行政視察
- 20日 福祉病院常任委員会
- 20日 行政視察

市議会のこころ

緊急雇用創出関連、 地域活性化・経済危機 対策などの補正予算 可決

6月定例会は、6月8日から19日までの12日間の会期で開催しました。

この定例会では平成21年度射水市一般会計補正予算などの議案9件、専決処分の承認を求め報告2件を審議し、いずれも原案のとおり可決、承認しました。

また、固定資産評価員については、前任者の辞任に伴い新たな評価員の選任に同意し、政治倫理条例に基づく政治倫理審査会の委員5名については、いずれも提案どおり同意しました。



可決した主な議案

予算

○議案第46号 平成21年度射水市一般会計補正予算（第1号）

7,868万3千円増額 【歳入】 緊急雇用創出事業補助金、ふるさと納税応援寄付金など
【歳出】 保育補助員・厚生補助員等の配置、ミライクル館プラザ等建築物解体、市指定民俗文化財のデジタル映像記録事業など

○議案第53号 平成21年度射水市一般会計補正予算（第2号）

1億7,195万円増額 【歳入】 地域活性化・経済危機対策臨時交付金など
【歳出】 保育園・幼稚園等にAED設置、幹線市道の道路照明灯修繕、消防はしご車オーバーホールなど

条例

○議案第48号 射水市国民健康保険税条例の一部改正について

地方税法の一部を改正する法律の施行に伴い、次のように改正するもの
・介護納付金課税額の課税限度額を9万円から10万円に引き上げる。
・保険税2割減額の対象となる要件を廃止し、一律に2割減額を適用する。

○議案第54号 射水市職員の給与に関する条例等の一部改正について

人事院勧告に基づく国の取扱い、県や県内他市町村の状況を勘案し、平成21年6月に支給する期末手当等を暫定的に減額するもの
・一般職員、特定幹部職員 2.15月→1.95月（0.2月分減額）
・議員、市長、副市長等 1.6月→1.45月（0.15月分減額）

その他

○議案第52号 射水市立片口小学校屋内運動場改築工事（建築主体工事）請負契約について

契約金額 3億9,060万円

報告

○報告第1号 専決処分第1号 射水市市税条例等の一部改正について

地方税法の一部を改正する法律の公布に伴い、次のように改正したので承認を求めるもの
・個人住民税における住宅借入金特別控除を創設する。
・配当・譲渡益に対する軽減税率を平成23年12月31日まで延長する。
・固定資産税（土地）の負担調整措置を平成23年度まで継続する。

6 月 定 例 会 審 議 結 果

議 案

番 号	件 名	議決の結果
第46号	平成21年度射水市一般会計補正予算(第1号)	可 決
第47号	平成21年度射水市老人保健医療事業特別会計補正予算(第1号)	可 決
第48号	射水市国民健康保険税条例の一部改正について	可 決
第49号	新たに生じた土地の確認について	可 決
第50号	字の区域の変更について	可 決
第51号	市道路線の認定について	可 決
第52号	射水市立片口小学校屋内運動場改築工事(建築主体工事)請負契約について	可 決
第53号	平成21年度射水市一般会計補正予算(第2号)	可 決
第54号	射水市職員の給与に関する条例等の一部改正について	可 決

報 告

番 号	件 名	議決の結果
第 1 号	専決処分の承認を求めることについて 専決処分第1号 射水市市税条例等の一部改正について	承 認
第 2 号	専決処分の承認を求めることについて 専決処分第2号 平成21年6月の期末手当等の特例に関する条例の制定について	承 認
第 3 号	継続費繰越計算書について(一般会計)	
第 4 号	継続費繰越計算書について(下水道事業特別会計)	
第 5 号	繰越明許費繰越計算書について(一般会計)	
第 6 号	繰越明許費繰越計算書について(後期高齢者医療事業特別会計)	
第 7 号	建設改良費繰越計算書について(水道事業会計)	
第 8 号	繰越明許費繰越計算書について(下水道事業特別会計)	

* 報告第 3 号から報告第 8 号までは報告するだけで、議決は必要ありません。

同 意

番 号	件 名	議決の結果
第 1 号	固定資産評価員の選任について	同 意
第 2 号	政治倫理審査会委員の委嘱について	同 意
第 3 号	政治倫理審査会委員の委嘱について	同 意
第 4 号	政治倫理審査会委員の委嘱について	同 意
第 5 号	政治倫理審査会委員の委嘱について	同 意
第 6 号	政治倫理審査会委員の委嘱について	同 意

請 願

番 号	件 名	議決の結果
第 1 号	富山県の最低賃金の大幅引き上げと中小企業対策の拡充を求める請願	不採択

人 事 案 件

固定資産評価員 坂 井 敏 政 氏 (市民環境部長)
 政治倫理審査会委員 牛 塚 和 子 氏 (新任)、奥 田 實 氏 (新任)、川 越 誠 氏 (新任)、
 松 尾 直 氏 (新任)、山 本 賢 治 氏 (新任)

代表質問(6月11日)

各会派を代表して、4名が市政方針等について質問しました。

(掲載 質問者順)



津田 信人 議員
(自民クラブ)

津田 信人 議員 (自民クラブ)

問 秋、冬に新型インフルエンザと季節性インフルエンザの流行時期が重なりと懸念されるが、対応をどうするのか

答 現在、「射水市新型インフルエンザ対策行動計画」の策定を進めている。これに従って、国・県及び関係機関と連携を図り、引き続き情報の収集・提供、感染予防及び拡大の防止策等の対応に努めている。

問 諮問委員会の審議内容について問う

答 「射水市新湊地区学校等のあり方検討委員会」では、幼稚園部会、小学校部会、中学校部会の3つの部会を設け、専門的・効率的に検討していく。第1回の委員会で、対象学校の現状把握、園児や児童生徒数の推移と今後の見込み、学校規模によるメリット、デメリットを説明した。「射水市統合庁舎建設基本構想策定委員会」では、基本構想の軸となる基本理念や基本方針、機能や規模、建設候補地などについて検討する。「射水市斎場建設調査検討委員会」では、

現施設の現状及び問題点、新施設の機能及び規模を調査検討してきた。今後、建設手法や管理運営方法、建設適地条件などを調査検討する。

問 国のスクール・ニューディール構想について問う

答 この構想は学校の耐震化をはじめエコ化やICT環境の整備を図るため、国の平成21年度第1次補正予算に盛り

込まれた。子供たちにとって魅力ある学校づくりを進めるため、積極的に活用し、十分検討を重ねた上で、速やかに予算化を図りたい。

問 定額給付金の未受給者への対応をどうするのか

答 未申請者へは、再度通知するなど申請漏れがないように努める。本人からの申請が困難な場合は、民生委員や老人福祉施設等の協力を得ながら、職員が出向くなどの対応をしたいと考えている。

問 新幹線工事と埋蔵文化財発掘の進ちょく状況を問う

答 工事発注予定の9工区のうち4工区が発注され、着手率は37パーセントで、ほぼ予定どおりの進ちょく状況である。残りの5工区については、今年秋ごろから年度内にすべて発注される見込みである。

埋蔵文化財の試掘調査により、本調査が確定した面積は、現時点で2・4ヘクタールとなっている。出土品は、これまで

の調査で鎌倉・室町時代などの中世における土器のかけらなどである。

問 園芸作物の生産状況と推進について問う

答 市内の生産状況は水田面積の3パーセント程度にとどまっている。現在は園芸産地マネージャーを選定し、平成23年度までの数値目標を設定した園芸産地ビジョンを策定するとともに、各地区の担い手の育成、生産、販売について進行管理をしている。今後ともJAいみず野や県農林振興センターと連携し、園芸作物の拡大を図りたい。



中村 文隆 議員
(市民創政会)

中村 文隆 議員 (市民創政会)

問 私が平成18年3月から求めてきた行政評価の導入については、すでに地方公共団体全体の45・6パーセント、8

46団体が実行しており、その割合は年々増加している。今後どのように臨むつもりか

答 今年度一部の事業について試行し、問題点を精査して次の段階へ進みたい。

問 人材育成は本来、将来を見据えて新市誕生から5年で集中的に取り組む必要がある。

答 職員が人間的に余裕ある今だからこそできるはずだ。人材活性化プランとも呼べる5年スパンの中期的なプランを立てて取り組むべきと思うがどうか。また、グループ制、FA制度、ブロードバンド制度などを積極的に導入しては

答 中期の育成プランについては参考としたい。人事管理制度については、今後とも研究を行い、有効と思われるものについて積極的に導入していきたい。

問 教育費にかかる国庫負担金の一般財源化により学校配当予算が大きく削減されている。備品が足りない、蛍

光灯が切れたままなどはどこ
の学校現場からもよく聞く。

学校教材費は、本来交付税措
置される教育教材整備費が小
学校約3、900万円、中
学校約1、700万円となるは

ずだが、実際は理科教材整備
費と合計しても小学校2、6
00万円、中学校1、100
万円である。本来充てられる

べき予算が小学校でマイナス
33パーセント、中学校でマイ
ナス35パーセントである。ま

た、平成21年度歳出予算のう
ち教育費の構成比が12・2パ
ーセントである中、耐震化や
大規模改造等のためとはいえ
学校建設費が小中学校費の49

パーセントを占めており、結
果としてソフトやメンテナンス
ス部分への配分が不足してい
る。これらの解決策として学
校裁量予算の取組みや教育費
全体、特に学校配当予算の充
実が必要ではないか

答 現在厳しい財政状況の中、
学校運営、維持管理、安心安

全な教育環境の整備等に必要
な経費が予算措置されている
と考える。新年度は各学校か

ら要望のある修繕費や体育館
の業者によるワックスがけ等
を新たに予算措置している。

学校裁量予算については調査
研究し、校長会とも意見交換
をしていく。

問 セーフコミュニティ認証
について

答 認証を取得しているのは
国内で1市のみであり、どれ
だけの効果があるのか見極め
ていく必要がある。今後の検
討課題とする。

問 発達支援センターの設置
について

答 提案の施設又は体制が望
ましいことは十分認識してい
るが、様々な課題があるため、
今後、現在のフォロー体制の
強化も含め研究していく。

問 下水道事業特別会計につ
いて

答 企業会計導入は平成24年
度を目標に進めていく。



小島 啓子 議員
(射水市社民党議員会)

問 介護保険について

**①要介護認定基準変更による
サービスの低下について**

答 新しい方法の導入に係る
経過措置として、判定結果が
更新前の要介護度と異なる場
合は、希望により更新前の要

介護度を継続できることになっ
ている。更新申請されたすべ
ての方にあらかじめ従前の要
介護度の継続について希望を
聞き、認定審査会にかける仕
組みをとっている。新しい要

介護認定や経過措置について
十分説明し、安心して介護サ
ービスを利用されるよう努めて
いく。

**②在宅医療と在宅医療支援セ
ンターとの連携について**

答 平成20年3月に富山県地
域ケア体制整備構想が策定さ

れ、在宅医療の基盤整備を図
るものとされた。今年度、県
のモデル地区として射水市医
師会が重点支援を受け、開業

医・訪問看護師等が在宅医療・
訪問看護連携モデル地区推進
事業を実施される。今後、事

業の具体化に際し、要請があ
れば積極的に参画し、連携を
図っていききたい。

問 学校給食問題について

**①地元食材の使用割合につ
いて**

答 昨年度は、給食食材費全
体に対する射水市産食材費割
合は15・55パーセントで、米
は射水米を100パーセント
使用している。また、県内産

食材費は37・51パーセントで
ある。今後とも生産者団体や
関係機関とも協議し、地産食
材の使用に努めていきたい。

**②大島小学校の調理方式は地
域住民の民意を尊重し、自校
方式を継続すべき**

答 射水市内の各学校の単独
調理方式や共同調理方式のそ

れぞれの良さ等を認識された
上で、今一度、教育委員会と
大島地区の方々が協議し、リ

ニューアルされる大島小学校
が子供たちにとってすばらし
い教育環境となるよう努めて

いきたいと考えており、大島
地区の意見に反するようなこ
とはしない。



問 障害者施策について

**市役所内に公的資格を持った
手話通訳者の設置を求める**

答 引き続き、窓口事務を行
う職員を中心に手話講座に参
加し、技術の習得に努めてい
く。常勤での手話通訳者の設
置は今のところ考えていない。

今後、聴覚障害者協会と話し
合いながら理解いただける方
策を検討していきたい。

問 妊婦健診の公的助成について

公費負担が拡充されたが、2年間のみの時限的措置であり、今後も妊婦健診、出産費用の無料化を求める

答 本事業の継続は大変重要であると認識しており、市の重点事業として平成23年度以降の財政的な継続支援について、国、県へ強く要望したところである。また、出産費用の無料化についても平成23年3月までの措置であることから、有効な少子化対策として継続されるよう働きかけていく。



瀧田 啓剛 議員
(誠志会)

問 北陸新幹線建設による射水市の経済効果は

答 本体工事のほか道路や水路の移設替えなどの付帯工事

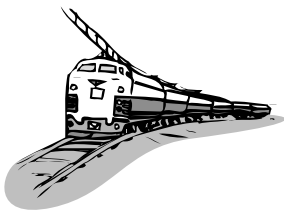
で地元企業の受注枠増加が見込まれる。さらに、埋蔵文化財調査による雇用創出、工事用資材購入等が期待される。

問 並行在来線の運営確保について

① 越中大門駅北口の開設
答 北口へのアクセス道路や周辺整備については、今後、隣接企業とも調整を図りながら整備方針の検討を進める。

② 呉羽・小杉間に新駅を整備
答 新駅の整備は、設置要望自治体からの請願駅として設置されることになるが、負担割合は今のところ定かではない。新駅設置がガイドラインの採択上可能なのか、隣接自治体の動向も含め、慎重に見極めていく必要がある。

極めていく必要がある。



問 町名・字名の取扱いにつ

いて

答 合併協議会で十分協議されたものであり、現在、特に支障はないと受け止めているが、今後、市民の声の把握に努めたい。

問 射水市バイオマスタウン構想の取組状況について

答 短期取組工程での事業は3点である。堆肥の製造は成分調査、試験栽培等を県立大学で行い、射水ブランドとなる堆肥の完成を目指す。炭化施設の建設は、事業実施者が調査しており、採算性が見込まれば、年内の着工を計画している。廃食用の油の燃料化は、回収システムの研究を進めながら、来年度中の施設建設を予定している。また、

もみながら珪酸を抽出する実証実験を県立大学、JAいみず野、民間企業の共同で行うが、9月には実証施設が完成し稼動する予定である。

問 職員の資質向上と研修体制、人事異動の基本的な考え

方について

答 多様化、高度化する市民ニーズにこたえるには職員の資質向上や能力開発が重要で、職場研修、職場外研修、自己啓発の3本柱で取り組んでいる。人事異動の周期は職場の活性化や人材育成を考慮し、基本的には3年から4年が適当と考えている。

問 射水市斎場改築について

答 総合計画の実施計画では中期に位置付けている。来年1月に予定されている斎場建設調査検討委員会の報告に基づき、早期建設に向けて鋭意取り組んでいく。

問 都市計画道路見直し等について

答 未着手部分は延長15・6キロメートルであり、計画見直しは慎重に検討を重ねる。

問 農政改革について

答 国の方針が明らかになる前に、これまでの取組みを評価し、安定した農業経営ができるような対策を要望すると

ともに、安心して農業に取り組んでいけるような体制づくり、施策を検討したい。農地法改正に伴う企業参入については、企業と農業者が意見を交換し、良好な関係で農業の振興を進めることが必要と考える。



一般質問 (6月12日)

6名が市政全般について質問しました。

(掲載 質問者順)



津本 二三男 議員

問 大島小学校の実施設予算の「執行凍結」について、「自校方式継続」を求める大

島地区の要望にこたえるためのものではなかったのか。市長のリーダーシップが見られない。

答 教育委員会と大島地区の方々において、単独調理方式、共同調理方式のいずれかの採用について接点を見出すため、十分な話し合いを行うよう指示している。

問 国は70人を超える大規模児童保育について、来年度までに解消するよう求めている。太閤山小、大門小、小杉小、歌の森小の大規模児童保育の分割はできるのか。見通しを伺いたい。

答 各学校内の余裕教室や近隣の公共施設の余裕スペースを利用した分割について、保護者の意見を聞きながら検討していく。太閤山小の児童保育については、もう一か所の児童保育スペースを確保していきたい。

問 老後もいきいきと健康に暮らせるように

①パークゴルフ場の年間利用券について、高齢者半額割引制度を導入されたい

答 今後の料金改定の際には検討していきたい。

②高岡市で実施しているような百円入浴券の導入を検討されたい

答 生きがい対策事業として提案の百円入浴券の導入は考えていない。

問 「市道建設改良費」の予算を充実し、生活道路の整備を促進するよう求めたい。旧小杉町においては身近な生活道路の整備要望が強く、毎年1億5千万円の予算を組んでいたが、射水市になって約1億1千万円台と、旧小杉町1町の時よりも少なくなっている。

答 生活に直結した道路整備については各自治会から多くの要望が出ており、計画的に整備を進めたい。財源は交付金事業などへ組み込みながら確保しており、今後とも努力

していく。



古城 克實 議員

問 不登校への対応について
①当市の不登校の実態及びスクールカウンセラー配置による成果は

答 平成19年度は小学生24名、中学生83名で国や県と同様増加傾向にあり、全体ではほぼ100人に1人が不登校になっている。また、スクールカウンセラーを市内全中学校7校及び小学校5校に配置し、一人ひとりに応じたきめ細かな指導と教師、保護者などの悩みにも幅広く対応している。

②支援施設である「ほっとスマイル」と「適応指導教室」の利用状況と成果は

答 ほっとスマイルでは不登校児童生徒の学校復帰に向けた指導と相談事業を実施、昨

年4名が通っていた。適応教室では40ケースの支援を行い、立ち直った生徒は高校生生活を送っている。

③不登校児童生徒への学校復帰にむけた柔軟な対応と自立への支援強化を求める

答 心の教室相談員、心のサポーター、スクールソーシャルワーカーなどを配置し、県や関係機関と連携して支援体制をさらに強化したい。



問 子ども発達支援事業について

①現在の対象者数及び状況は

答 発達障害の診断を受けた児童生徒は52名、医師の診断等を勧められている児童生徒は約170名いる。小学校14校に18名、中学校3校に3名の特別支援教育推進指導員を派遣し、学校全体で障害に

じて適切な指導に当たるよう努めている。

②発達支援教室設置を求める

答 常時開設できる体制が望ましいことは十分認識しているが、専門スタッフの配置、組織体制の機能整備等、課題もあり、今後、相談事業等の体制強化を含め研究したい。

問 NPO法人に対する活動支援の充実を求める

答 平成20年度公募提案型事業は、いずれも熱心に取り組みまれ大変効果があった。これからも質の高いサービスが生み出される提案があれば積極的に支援していきたい。



伊勢 司 議員

問 景気、雇用対策について
①国の補正予算の影響について

答 公共投資臨時交付金はま

だ詳細が明らかになっていない。経済危機対策臨時交付金は約5億2、500万円の交付が内示され、1億7千万円を追加で補正する提案をした。

②前倒し発注による景気対策と小規模修繕・工事等契約希望者登録制度について

答 支障のない限り、できるだけ前倒し発注するよう担当課と連携していく。小規模修繕・工事等は、施工管理や完成後の保証等を考慮し、原則として入札参加資格登録業者から選定し発注している。

③大手物流業者の撤退に伴う支援施策について

答 継続した企業訪問等により、市内企業の状況を把握し、対応に努めたい。撤退による解雇者への支援として、雇用創出を図るとともに能力再開発訓練に奨励金を交付し、雇用の安定に努める。

問 いみず元気にせんまい券の使用状況について

答 現在、49・3パーセント

と順調に使用されている。食料品から宝飾品まで多種多様にわたり使用されており、市内経済の活性化につながっていると考えている。

問 射水ブランド推進計画について

戦略会議の状況と射水ブランドのPRについて

答 昨年8月に戦略会議を設置し、11月に提言を受けた。手作りマスコットやムズムズ体操等によりロゴマークの認知度が高まりつつある。農産物についても開発や普及、販路拡大に支援していく。

問 下条川及び周辺道路側溝の整備について

①下条川中洲のしゅんせつについて

答 管理者の県が平成13年度から順次実施しており、今後とも強く要望していく。

②大島北野鷺塚線（北部線）の側溝整備について

答 住民による維持管理が困難な箇所は状況に応じて土砂

の排除を行う。側溝整備は農業用の排水等が不要になった部分から農業関係者及び住民と協議したい。



赤江 寿美雄 議員

問 日本が人口自然減になり、市の人口減少が最大の心配事である。今後の都市間人口移

住競争に勝つための魅力的なまちづくりプランについて

答 広域観光の推進、子育て支援対策の充実、宅地開発、安全安心の暮らしの確保を指して移住交流事業の推進を図っていききたい。

問 日本一子供を育てやすい市を目指して、第2子以降の

幼稚園費、保育園費を無料化してはどうか。3億1、900万円の経費は予算総額の1パーセント以下であり、実施できると考える

答 子供は地域の大きな宝であり、平成20年度からは小学6年生までの医療費を無料化したところである。保育料は、第3子以降は半額とするなど保護者の負担軽減に努めている。今後も多様な保育サービスの充実を図り、少子化対策に積極的に取り組んでいく。



問 親の心配のトップは子供が急に病気になったときの対応である。病児預かり病院を開設してほしい。

答 身近な医療機関での実施を関係機関と協議しながら、今後の課題としていきたい。

問 自殺者が急増する中、本市から自殺者をなくすための相談施設の充実について

答 県内の自殺死亡率は全国平均より高く、原因のトップはうつ病である。本市では昨年から公募提案型市民協働事

業として、うつ病対策事業「ピア・サポートIN射水」を実施している。今後とも県厚生センター、心の健康センター、専門医師、カウンセラー等と連携し、相談体制の強化を図る。

問 地球温暖化防止のため、二酸化炭素排出量ゼロの太陽

光発電は資源のない日本にとって純国産エネルギーとして大きな存在である。一般家庭での普及を目指して、補助金の引き上げと充実を考えてはどうか。

答 太陽光発電の重要性から国では補助金が復活された。本市でも普及拡大に向け、補助制度の見直しを検討したい。



義本 幸子 議員

問 市長の出前講座について

答 地域住民と行政が手を

えて取り組むための市民協働について重点的に話している。語り合うことで意思疎通が図られ、地域の問題点を把握し、市民参画への理解を深めてもらう効果がある。

問 旧太閤山小学校跡地利用計画について

答 跡地利用は旧校舎とグラウンドを切り離して進める。旧校舎跡地は、太閤山公民館を移転新築し、保育園等を民設民営で整備する。旧校舎解体は7月に工事に入り、新しい公民館は来年度早々に実施設計に着手できるように地元自治会と協議を始めたい。保育園等は本年度から引き受け法人の選定等の準備を進めたい。グラウンド部分は、当面はそのまま利用し、将来的な活用方法を引き続き協議したい。

問 市民へのわかりやすい食育の説明について

答 市内小中学校では朝食調査で朝食の大切さを指導し、地場産給食で生産者との交流

を図り、食材の理解を深める学習を行っている。今年度は、新たな取組みとして、栄養士が幼稚園や小学校を巡回して食育指導を行っているほか、子供たちが収穫体験し、調理実習する活動を計画している。

問 スポーツによる子供の健全育成について

答 スポーツ少年団では、健康な身体と心を養い、友情と協力の大切さなどを学んでいる。総合型地域スポーツクラブでの教室などスポーツに触れる機会は豊富である。また、富山サンダーバースから小学生全員に無料チケットが配布され感謝している。子供たちがその姿を肌で感じることで夢や希望が広がるものと確信している。

問 「スポレクとやま2010」に向けて

答 来年10月16日から19日までの4日間、本市ではソフトバレーボール、女子ソフトボール、男女混合綱引、パークゴ

ルフを実施する。全国から2千人を超える参加者を見込んでおり、射水ブランドの全国発信、経済波及効果も期待できる。今年度は、リハーサル大会を順次実施し、広報等で機運を高めたい。



吉野 省三 議員

問 市が出資している団体及び指定管理者に対する監査委員の監査について

答 監査委員としてもその必要性を十分認識しており、今年度から市の出資団体である土地開発公社及び公園等管理業務公社の監査を予定してい

る。また、指定管理者への監査についても、来年度から順次実施していく予定である。

問 民間空き地の草刈り等の環境保全について

答 空き地の雑草等に関する苦情のうち、土地所有者が市外や県外のケースが増えつつあり、周辺住民からも所有者がわからないので市へ草刈りを指導してもらいたいとの相談が増えてきている。市では、過去の苦情箇所を地図に落とし、そのデータを基に事前に市内を巡回しており、草丈がある程度伸びた時点で再確認し、文書等で土地所有者に草刈りを要請している。なお、改善がされない一部の土地所有者に対しては、「空き地の環境保全に関する条例」に基づき、指導及び勧告を行っている。罰則規定を条例に追加することについては、検討していく。

問 国民健康保険被保険者証のカード化について

答 県内では昨年度2市でカード化が実施され、今年度には2町1村で予定されている。本市でも被保険者の利便性が増すことから、検討を重ねてきた。一方、厚生労働省においては、社会保障制度全体を通じた情報化の共通基盤として、ICチップを組み込んだ「社会保障カード」の実現に向けて検討がされている。このカードは、年金手帳、健康保険証、介護保険証の役割を果たし、各種記録等の確認を可能とするものとして、平成23年度中を目途に導入することとされている。このことから、本市においては、国の「社会保障カード」の導入に向けての動向を見極めて、対応を進めていきたいと考えている。

問答については決められた字数の範囲で議員が作成し、広報編集委員会で編集しました。

委員会報告

6月定例会中に開催した各常任委員会と予算特別委員会の内容の一部をお知らせします。



委員会の様子

総務文教 常任委員会

射水市職員の給与に関する条例等の一部改正について

問 6月の期末手当等を削減しようとするものだが削減額は。

答 削減額は、一般職員、特別職、議員合せて約8千万円程度である。今回は暫定的な措置であり、8月の人事院勧告を受けて、今後何らかの調

整が必要となることも考えられる。

福祉病院 常任委員会

平成20年度介護保険事業執行状況等について

問 介護予防事業を効果的に推進する上で、今後どのような業務に重点的に取り組もうとしているのか。

答 認知症の早期発見と早期治療に重点的に取り組むこととしており、認知症の正しい理解と対応を市民に広めるため、地域包括支援センターが中心となって認知症の方やその家族をサポートするボランティアを養成している。このほか、一般高齢者向けの予防事業や生活機能チェックに基づく特定高齢者向けの予防事業などに取り組む。

市民環境 常任委員会

射水市国民健康保険税条例の

一部改正について

問 どのような内容か。

答 1点目は賦課限度額を9万円から10万円に引き上げるものであり、所得の高い人に応分の負担をいただき、低い人の負担を和らげるものである。2点目は2割減額の対象要件には、前年からの所得の状況の著しい変化等により減額が適当でない場合、軽減対象としないとの条件があるが、これを廃止し、一律に2割減額を適用するものである。

問 前年の所得から著しく所得が減った場合はどうか。

答 事情によっては、分割納付や減免措置の相談に応じている。

射水市市税条例等の一部改正について

問 負担水準の一定割合の基準はいくらか。

答 負担水準は、前年度課税標準額を新評価額で割ったものであるが、住宅用地の場合には80パーセントから100

パーセント、商業用地等は60パーセントから70パーセントが据え置きラインである。それぞれの下限に満たないときは、当該年度の評価額の5パーセントを前年度の課税標準額に加え、上限を超えるときは上限まで引き下げる。

問 不況の折、固定資産税の税率を下げればどうか。

答 固定資産税は、市にとって安定した財源の一つであり、財源確保ということから下げの議論はしていない。

産業建設 常任委員会

市道路線の認定について

問 開発行為等で新設された道路を市道として認定しようとするのは理解できるが、その他の道路は、どのような手順で認定されるのか。

答 地元からの要望を受けて、現地を調査する。その道路の両端が既存の公道に接続し、道路網が一体となって広

く一般の通行に利用されるなど市道認定基準に該当することが要件となる。

予算特別委員会

高速道路料金の引下げの影響について

問 本市への具体的な影響はどうか。

答 ゴールデンウィーク期間中の県外ナンバーの割合は、前年に比べて海王丸パークで11・5ポイント、道の駅新湊で10ポイント上昇した。

学校の危機管理について

問 学校に危機管理マニュアルはあるのか。

答 感染症や食中毒については、県教育委員会が標準マニュアルを定めている。

問 各学校独自のマニュアルが必要ではないか。

答 県が作成したマニュアルでは全てに対応していないので、詳細なマニュアルが必要だと思ふ。

常任委員会行政視察報告

各常任委員会では、他の自治体等の先進的な取組みや特色ある事業を視察するなど、所管事務に関する調査研修を行っています。本年度は、それぞれ次のとおり調査してきました。これらを今後の委員会活動に活かすとともに、市政発展に努めてまいります。

総務文教常任委員会

5月18日(月)～5月20日(水)

大阪府和泉市

- * 行財政改革について
- * 総合計画について

岡山県津山広域事務組合

- * 広域行政について



〈津山広域事務組合〉

福祉病院常任委員会

5月20日(水)～5月22日(金)

北海道砂川市

- * 市立病院について

北海道恵庭市

- * 子ども発達支援センターについて

北海道登別市

- * 子育て支援施策について



〈砂川市立病院〉

市民環境常任委員会

5月19日(火)～5月21日(木)

北海道釧路市

- * 清掃工場について
- * 斎場について
- * 湿原の環境保全について

北海道帯広市

- * 環境モデル都市について
- * 収納対策について



〈釧路市清掃工場〉

産業建設常任委員会

5月19日(火)～5月21日(木)

奈良県橿原市

- * 観光施策について

奈良県明日香村

- * 観光ボランティアについて

滋賀県長浜市

- * 中心市街地活性化について
- * 曳山博物館について



〈長浜市内／中心市街地〉

行政視察を受け入れています

射水市議会では年間を通じて県内外の市町村議会等からの行政視察を受け入れています。平成20年度は、14の団体から149名の方を受け入れ、議会運営などのほか、水道事業やブランド化推進事業など先進的な取組みを紹介しました。

おめでとうございます

議員表彰

全国市議会議長会並びに北信越市議会議長会から永年勤続の表彰を受けられた議員へ、6月定例会開会日の冒頭に議長から表彰状が伝達されました。

【在職15年以上表彰】 大窪長則議員

【在職10年以上表彰】 瀧田啓剛議員、津本二三男議員、
呉松福一議員、石黒勝三郎議員、
横堀大輔議員、藤井喜義議員、
小島啓子議員

(注) 市議会議員になる前に町村議会議員であった場合は、その期間の2分の1を在職期間に加えて計算します。



小島議員 横堀議員 藤井議員
呉松議員 津本議員 大窪議員 瀧田議員 石黒議員

請願・陳情の提出について

市民の皆さんは、市政についての要望を請願書や陳情書などとして市議会に提出することができます。議員の紹介があるものを請願、ないものを陳情と呼んでいます。請願や陳情の審査結果については、提出された方に後日お知らせします。

【請願書(陳情書)の書式例】

年 月 日	
射水市議会議長 殿	
請願(陳情)者 住 所 氏 名	印
紹介議員氏名 (請願の場合のみ)	印
〇〇〇に関する請願(陳情)	
(請願・陳情の趣旨)	

請願書(陳情書)を提出される方は、次の要領で提出ください。

- ① 請願・陳情の趣旨を具体的に記載してください。
- ② 提出年月日、提出者の住所及び氏名(法人の場合は名称と代表者名)を記載し、押印の上、議長あてに提出してください。
- ③ 請願書の場合は、紹介議員の署名又は記名押印が必要です。
- ④ 各定例会の初日の3日前までに提出されるようお願いします。
- ⑤ 詳しくは議会事務局までお問い合わせください。(電話82-1950)

編集後記

暑中お見舞い申し上げます。6月定例会では、地球温暖化防止の一環として冷房温度を28度に設定し、本会議を除く委員会や各種会議をネクタイ・上着なしのクールビズで行いました。また、射水市では昨年からの取り組んでいるグリーンカーテン事業を43箇所に拡充しました。これは窓辺や南壁面につる性の植物を植えて日光を遮るものですが、室温の上昇を抑える効果はもちろん、見た目の涼しさもあり、一般家庭でも見かけるようになりました。暑い日が続きますが、工夫次第で暑さを和らげることはできますね。皆さんもできることから取り組んでみませんか。

委員長 嶋崎 栄治 副委員長 伊勢 司
委員 泉田 恒男・梶谷 幸三・津田 信人
吉野 省三・橋本 昌樹・岡本 良幸
新中 孝子・坂東 昭

議会を傍聴しませんか

次回、9月定例会は9月1日(火)から開会します。本会議は、どなたでも傍聴できます。また、本会議・予算特別委員会はケーブルテレビで放送しています。